児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

作成年月日：令和　8 年 1 月 18 日

事業所名　こぱんはうすさくら富山二口教室

		チェック項目	非常に思う	思う	どちらでもない	思わない	非常に思わない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切ですか？		2	8	1		・使用者の人数が多い日は自発的な行動を促しつつ、安全安心に努めてスタッフが危険予測を把握しやすい環境をつくっている。	・2025年度より多機能型から規模別型へ体制が変化したため放課後等デイサービスの支援室は使用することができない。今ある部屋の大きさを変えることはできないため、部屋を分け活動の実施時間をずらすなど環境づくりに務める。
	2	職員の配置数は適切ですか？		8	3			・パートさんの勤務時間を考え限られた時間の中で、臨機応変に業務と現場のバランスを調整しながら勤務している。	・児童指導員配置を行った上、お子様の特性に合わせて職員を配置する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか？また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか？	3	8				・遊びや生活に応じてスペースを区切り、視覚支援ツールを用いながらやることがわかりやすいよう環境調整している。また安全を確保している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか？また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか？	2	6	3			・毎日掃除を行っている。定期的に遊具消毒や換気扇など大掛かりな掃除を行っている。	・快適な環境整備、感染症対策のため曜日や時間を固定化し消毒の機会をとる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画していますか？	2	6	3			・定期的に情報共有をしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていますか？	3	6	3				・結果はHPで公表しているため、共有する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開していますか？	2	4	3	2			・結果はHPで公表しているため、共有する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか？	2	6	3				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保していますか？	2	7	2			・オンライン研修が支援時間の都合で参加できないことがあるがオンデマンド動画で見ている。 ・新任研修など重要な研修に該当する職員は研修がされている。	・各スタッフの業務内容を把握し、研修時間を確保する。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成していますか？	5	6					
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用していますか？	1	6	4				・定型発達の表の張り出しを検討する。
	12	個別支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的	1	10					
	13	個別支援計画に沿った支援が行われていますか？	2	9					
	14	活動プログラムの立案をチームで行っていますか？	4	7					・頻度を決めてプログラムを検討したり教材研究の時間と検討する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫していますか？	2	7	2				・個々の発達に応じてルールや約束が定着しづらいため、敢えて固定した活動を取り入れ認知理解の向上を狙うこともある。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成していますか？	3	6	2				・個別の目標は立てにくく実施しにくいが、人数の少ない日に取り組むことを検討する。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか？	5	6					
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか？		5	5	1		・残っている子どもの支援や送迎でスタッフが少なく全員で実施できない日が多いが、時間を合わせ振り返りの機会を設けている。	・児童の体調や姿の把握を行い支援の向上に繋げるため、時間を決め実施する。また当日参加されなかったスタッフとはチャットで情報共有を行う。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか？	5	6					
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断していますか？	3	5	3				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画していますか？	1	10					
	22	移行支援として、学校等関係機関との支援内容の情報共有と相互理解を図っていますか？	1	10					
	23	他の福祉サービス事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか？	1	7	2	1			・研修の機会があれば積極的に参加をする。
	24	障害のない子どもと活動する機会はありますか？		4	3	3	1		・機会があれば積極的な参加をする。
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加していますか？	1	1	3	4	2		・参加した場合情報共有を行う。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか？	2	8	1				
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っていますか？	1	3	6	1			・機会があれば積極的に検討する。
保護者への説明責任等	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか？	4	5	1	1			・OJT教育担当より手順に沿い一人前に説明ができるよう行う。
	29	個別支援計画を作成し、保護者からの同意を得ていますか？	5	6					
	30	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか？	4	6	1				
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援していますか？	2	3	3	2	1		・機会があれば積極的な参加をし、情報共有を行う。
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応していますか？	3	8					
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか？	3	3	5				
	34	個人情報に十分注意していますか？	6	4	1			・個人名が記載された書類は伏せるなどの基本的な意識を日ごろ声掛けや確認で防いでいる。	
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか？	2	9					
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っていますか？		2	6	2	1	・年一回のゆるゆる大運動会や野上緑化主催の夏祭りがあり、機会があれば参加希望者を募っている。	
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施していますか？	3	7	1				・新入スタッフが加入した際など、定期的に確認する。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか？	3	7	1			・集団プログラムの中でお子様と一緒にスタッフも訓練をしている。	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認していますか？	4	7					
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか？	4	6	1			・食物アレルギーの利用者はいない。	・食物アレルギーがあるお子様はいないが花粉やハウスダストアレルギーやアレルギー体質のお子様がおられるため日常の体調の変化を見逃さないようにする。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか？	5	6					

	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか？	6	4	1				
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載していますか？	5	5	1				・OJT教育担当より手順に沿い一人前に個別支援計画の説明ができるよう行う。